平成16年10月29日

各　　位

会 社 名　アイサンテクノロジー株式会社
代表者名　代表取締役社長　柳 澤　哲 二
（登録銘柄・コード４６６７）
問合せ先
役職・氏名　取締役経営企画室長　加藤　淳
電話　０５２－９５０－７５００

# 固定資産減損会計の早期適用及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成16年10月29日開催の取締役会において、下記の通り「固定資産の減損に係る会計基準」を平成17年3月期中間決算より早期適用することを決定いたしました。これにともない、平成16年5月21日(平成16年3月期決算発表時)公表の業績予想を修正いたしますので、お知らせいたします。

記

１．固定資産の減損に係る会計基準の早期適用について

当社は、従来より新たな会計基準の導入に積極的に対応し、損失処理を前倒しで行うことにより財務内容の透明性を高めてまいりましたが、より一層の財務体質の健全性を図る為、「固定資産の減損に係る会計基準」についても平成 16 年度中間決算より早期適用することといたしました。これにより、営業拠点として活用してきた土地等を中心に減損処理を行い、3億57百万円の特別損失を計上する予定であります。

２．業績予想の修正

平成17年3月期中間期(平成16年4月1日～平成16年9月30日)の業績予想

(単位：百万円、%)

| | 売上高 | 経常利益 | 中間純利益 |
|---|---|---|---|
| 前回発表予想(A)<br>(平成16年5月21日発表) | 833 | 66 | 36 |
| 今回修正予想(B) | 672 | △78 | △465 |
| 増減額(B-A) | 161 | △144 | △501 |
| 増減率 | △19.3 | ― | ― |
| 前年同期(平成15年9月中間期) | 782 | △26 | △42 |

３．業績予想修正の理由

平成17年3月期中間期(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

測量、土木・建設市場におきましては、改正測量法施行、「建設CALS-EC」推進等により新規ソフトウェア導入のための市場環境が整備されてまいりましたが、公共事業削減の流れは継続し、両市場では設備投資機運が高まらず、売上高は期初計画を下回る見込みであります。また、経常利益についても、経費の効率化を進めてまいりましたが売上高の低迷を補うまでにはいたらず、期初計画を下回る見込みであります。最終損益につきましては、前述の「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用、役員退職慰労金の支出等による特別損失4億43百万円の計上により、中間純損失4億65百万円となる見込みであります。

４．通期業績見込みについて

平成17年3月期通期業績見通しにつきましては、不動産登記法改正の成立等明るい兆しがあるものの、下期の市場環境を尚検証したうえで、平成16年11月19日発表予定の中間決算短信において発表する予定でおります。

※　上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

以　上